



秋深まる北海道を舞台に毎年、数々のドラマが繰り広げられる国内最大規模の自転車ロードレース「ツール・ド・北海道2010」(財団法人ツール・ド・北海道協会、日本自転車競技連盟主催)が、9月16日から20日に開催された。本大会では、小学生以上が参加できる「ツール・ド・北海道2010 市民レース」も同時開催され、スポーツ振興くじ(toto-BIG)の収益が役立てられている。

「ツール・ド・北海道2010 市民レース」

スポーツ振興くじ(toto-BIG)の収益が役立てられた北海道の雄大な自然を舞台に繰り広げられるロードレース

北海道らしいロードレースとして定着

道内だけでなく、国内外から毎年多くの参加者が集まる「ツール・ド・北海道」は、日本初のステージレースとして1987年に初開催され今年で24回目、国際大会としては14回目を迎えている。

スポーツ振興くじの収益が役立てられている「ツール・ド・北海道」、市民レースの参加選手は年々増加しており、今年は1190名が、北海道ならではの雄大なコースを疾走した。

「北海道の持つ広さや自然のすばらしさをレースを通して伝え、北海道をもっと盛り上げ元気にしていきたい」という思いからスタートしました。

当初は、世界的な自転車ロードレース「ツール・ド・フランス」を目標としていましたが、今では、世界で知られるレースのひとつにまで成長しました。財団法人ツール・ド・北海道協会の山本隆幸理事長は話す。

安全面など、幅広く使われる助成金

近年では、この「市民レース」の参加に



助成金により、充実したレース展開が毎年積み重ねられていく。

向けて、北海道各地にサイクリングクラブが続々と増え、揃いのユニフォームを作ったりと、自転車を愛好する人の裾野が拡大している。

スポーツが地域の可能性を広げる

「市民レースといえども参加選手の意識は高く、毎年、競い合いながら自分の限界に挑戦できます」と、女性参加者の一人は、レースの魅力を熱く語る。

スポーツの目的は、健康増進だけではない。生活の幅を広げ、体だけでなく、心も元気にして行く中で、人と人との結びつきを強くしていく、「これからは、参加選手や観戦者たちのレースに関わる人々が世代を超えて一体となり、さらに地域の結びつきを強くして、さまざまな交流を図っていききたい」として、生涯スポーツとして、私たちが購入する

スポーツ振興くじの助成金は、治道の警備などの安全面や、プログラム制作など幅広く使われている。「選手たちが走行スピードは、平均時速30〜35キロ。年々治道で応援する人も増え続けています。助成金の一部は、そういった選手や観戦者の安全面にも役立てられています」

私たちが購入するスポーツ振興くじの収益は、このような場所でも役立てられ、スポーツの持つ可能性を広げているのだ。



財団法人ツール・ド・北海道協会理事長 山本隆幸さん

あなたの街のさまざまなスポーツ振興に役立てられているスポーツ振興くじ toto-BIG の助成金

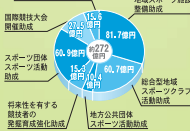
生涯スポーツ社会を目指して

2010年、日本国民はパンパー五輪とサッカーワールドカップ(W杯)南アフリカ大会での日本代表の活躍に、沸き返った。両大会を現地で取材し、スポーツが持つ驚くべきエネルギーを改めて実感した。この「見るスポーツ」の感動を、自らが「行うスポーツ」への動機付けに出来るのだろうか。子どもも青年も、熟年もお年寄りも、都会の人も地方在住者も、誰もが、どこでも、自分に適したスポーツを楽しむ社会は、国民を健康にし、幸福にする。文部科学省が打ち出した(スポーツ立国戦略)での一掃手の戦略は「ライフステージに応じたスポーツ機会の創造」だ。21世紀における、我が国でのスポーツの地位を高めて行きたい。

読売新聞東京本社編集局部長
(五輪担当・サッカー推進専務部長)
塩見要次郎

スポーツ振興くじの収益による助成は、平成14年度から開始されています。これまでに約272億円の助成を行い、日本のスポーツ振興に役立てられてきました。

収益の1/3は国庫に納付され、教育・文化の振興、自然環境の保全、青少年の健全育成等の事業に、2/3がスポーツ振興事業に充てられます。助成は平成14年度から開始されており、これまでに約272億円の助成が行われ、日本のスポーツ振興のために役立てられてきました。(平成22年度は配分額を合算)



スポーツ振興くじ収益金

スポーツ普及に対する助成



地域スポーツ施設整備助成

総合型地域スポーツクラブ活動助成
地方公共団体スポーツ活動助成
国際競技大会開催助成

グラウンドの老朽化など、地域住民が身近にスポーツを楽しむための施設の整備を図ることを目指しています。
地域住民が気軽にスポーツを楽しむための総合型地域スポーツクラブの育成を図ることを目指しています。
スポーツ教室・大会等の開催など、地域住民のスポーツ活動の活性化を図ることを目指しています。
国内での国際競技大会の開催を円滑に行うことを目的とします。

競技力向上に対する助成



将来性を有する競技者の発掘育成強化助成

スポーツ団体のスポーツ活動助成
国際競技大会開催助成

将来性を有する競技者を発掘し、育成を強化する体制の整備を図ることを目的とします。
スポーツ団体の育成の促進、スポーツ指導者海外研修など、国内でのスポーツ活動の活性化を図ることを目的とします。
オリンピック競技種目、アジア競技大会など、国内での国際競技大会の開催を円滑に行うことを目的とします。